

わかやま農業教育一貫プロジェクト

令和4年度入学生から
本格始動!

特集 変わる! わかやまの農業教育

地域農業をリードする人材の育成

わかやま農業教育一貫プロジェクトは、農業系高校4校(紀北農芸・有田中央・南部・熊野)と農林大学校が専門的な授業等で連携することによって、5年一貫の教育システムを構築する事業です。

これにより、高度で優れた専門性や実践的な知識・技能を備え、地域農業をリードしていく人材の育成を目指しています。



糖度計で調査



ウメの収穫

和歌山ならではの学び

農業系高校においては、和歌山の主要な農産物である果樹(ウメ・カキ・モモ・ミカン)の栽培に特化し、研究施設等と連携しながら学習を進め、高校生はもちろん、教員の専門性の向上も図ります。

農林大学校への進学後は、農業系高校で学んだ科目の一部を免除することで、その時間を活用した、より深い研究が可能となります。

この一貫教育を通して、スマート農業や6次産業化についても実践的な実習や研究を行い、効率的な栽培につながる高い技術力や経営的な視点を持った人材が育つことを期待しています。

農業科特別選抜を導入

和歌山県教育委員会HP
農業科特別選抜へ▶



農業科で実施

令和4年度に向けて、農業を学びたいという意欲のある県内外の中学生を対象として、通常の入学者選抜前に、農業科特別選抜を実施しました。実施した高校は、紀北農芸高校と南部高校で、令和4年2月上旬に面接と作文の検査が行われました。

さあ!農業への扉を開こう

農業を将来の仕事として真剣に考えたい、和歌山の農業を支えたい、そのような熱い思いを持った中学生に、ぜひ受検してもらいたいと思っています。



切磋琢磨しながら成長

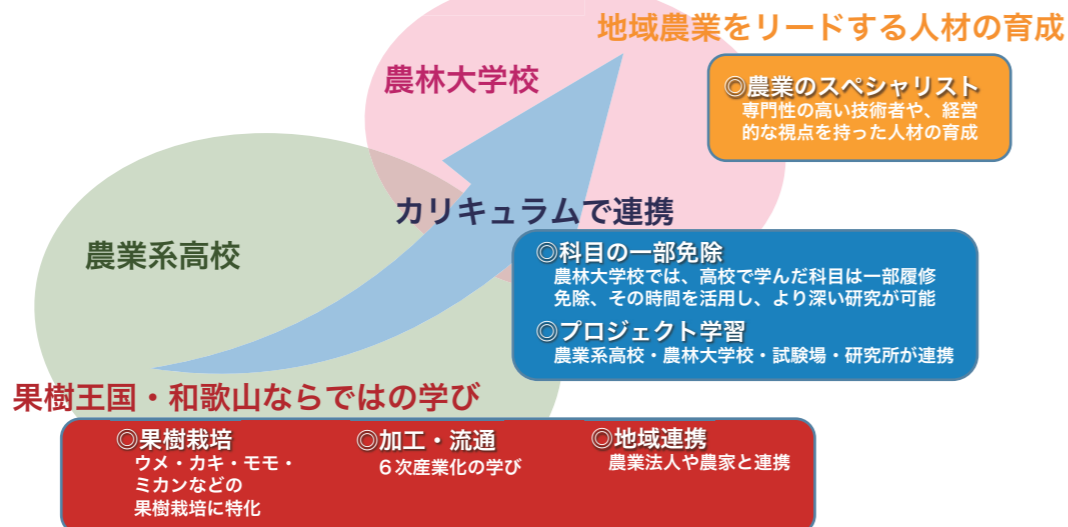
この特別選抜により、全国から集まってきた高校生と県内の高校生が切磋琢磨しながら、果樹王国・和歌山で、お互いに高め合いながら果樹栽培を学びます。

また、全国募集の導入とともに、和歌山の農業教育を全国に発信して注目されることで、高校生たちが自信と誇りを持つことにもつながると期待しています。



ウメの収穫

わかやま農業教育一貫プロジェクト



わかやま 農業高校マルシェ

わかやま農業高校マルシェは、農業教育の学びの成果を発揮し、農業教育の魅力を地域に発信することを通して、それぞれの地域農業の課題解決に向けた学習活動につなげるものです。さらに、農業系高校のない和歌山市で開催することで、農業系高校の取組を広くPRしています。



日時/毎週金曜日の12:00~13:00
(学校行事等を除いて原則開催)
場所/JR和歌山駅前西口オープンスペース
内容/各高校が農産物や加工品を販売



マルシェに参加した 高校生の声

- 和歌山市でどのような農産物の需要があるかを学ぶことができました。
- 新米袋は持ち帰りを考え3kgと5kgを用意したり、ミカンはよく見えるように透明の小袋に入れたりしました。販売の視点での学習ができました。
- 地元でもよく売れるドライフルーツを、和歌山市の皆さんにも味わってほしいと思って用意しました。販売結果やお客さんの声を次の販売につなげたいです。
- 冬には、ハクサイやダイコンなどの鍋料理にぴったりな野菜や、クリスマスに欠かせないポインセチアを販売しました。自分たちが栽培した農産物を買ってもらえて良かったです。



紀北農芸高校

かつらぎ町



和歌山県唯一の農業科専門高校です。カキ・モモを中心とした果樹や、野菜・草花の栽培を学ぶ施設園芸科、農産物の加工や販売・流通などを学ぶ生産流通科、機械・土木の専門知識を学ぶ環境工学科の3学科が設置されています。



有田中央高校

有田川町



総合学科高校の中に、令和4年度から、農業系列と新たにカルチャー農業系列を設置し、新しい農業教育を目指します。特産品であるミカンを中心に、マンゴーやブドウ山椒など、地域の特産品の栽培から加工・販売までを学びます。



南部高校

みなべ町



食と農園科と普通科を併設し、「南高梅」の命名由来にもなった学校です。ウメの栽培を中心に、野菜・草花の栽培、加工・販売や調理など、「農園」から「食」に関する内容まで幅広く学びます。

また、令和4年度から全国の農業科で初めて、調理師資格が取得できるコースが設置されます。



熊野高校

上富田町



総合学科と看護科が併設された学校で、2年生から農業科目を選択して、学習を深めることができます。ウメやミカンなどの果樹、野菜や草花の栽培、森林や環境などについて学びます。



農業系高校の紹介